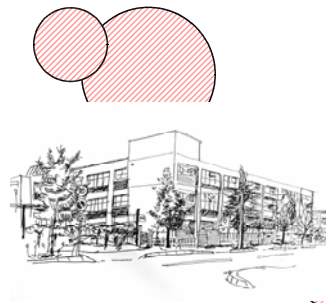


# 明星中学校だより

## 知と和と粘り



〒 070-0025 旭川市東5条1丁目

Tel 0166-26-0468 Fax26-0469

E-mail: myojyo@myojyo.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp

■発行責任者 校長 増茂 薫

■発行日 平成23年7月22日 ◇第5号◇

# 熱い選手宣誓を受けて新記録ラッシュ!

## 校内陸上大会



### 『宣誓』

我々選手一同は 知と和と粘りの校訓のもと  
 仲間の頑張りを讃えること 自分に負けないこと そして最後まであきらめないことを  
 今日この大会で実践します  
 クラスの心が一つになるように  
 今日の自分を越えられるように  
 笑顔でゴールや記録に向かって 挑戦します  
 大空に 咲かせてみせよう 勝利の花を  
 このスローガンにふさわしく  
 スポーツマンシップにのっとり 正々堂々と  
 いかなる状況においても 全力で競技に参加することを誓います  
 平成23年6月17日 選手代表



3年1組滝下翔也 小林京香 3年2組伊藤純 新田茄奈子 3年3組橋場亮太 小坂莉子』

## 西川市長との懇談

20日、旭川市の「青少年と対話事業」に参加する形で、本校生徒10名が西川将人市長と懇談する機会に恵まれました。本校3階教室にて、多少、緊張気味だった生徒たちも、親しみやすい市長の司会ぶりやトークに慣れてきて、次第に笑いあいの自己紹介からフリートークへと進行。「今、何をしていたら将来市長になれますか?」の質問も登場。詳細は、次号にて掲載します。参加者は、以下のとおりです。齋藤真子さん(3年)、若松慶将君(3年)、小田桐かえでさん(3年)、佐々木良輔君(3年)、滝下翔也君(3年)、北清雄喜君(3年)、高田結月さん(2年)、高橋渚さん(2年)、原有平君(2年)、米川さや葉さん(2年)。



名前	種目	新記録	これまでの記録(年度)
松井 和君 (1の3)	1年女100m	14" 49	14" 75 (H22)
鈴木 涼太君 (1の1)	1年男200m	29" 27	29" 50 (H20)
朝倉 琢斗君 (1の1)	1年男100mH	18" 33	19" 63 (H22)
戸田 莉子さん (1の2)	1年女100mH	18" 34	19" 38 (H22)
朝倉 菜月さん (1の2)	1年女ジャベリックスロー	20m 46	16m 86 (H22)
小野寺晴香さん (2の3)	2年女100m	14" 52	15" 39 (H22)
須郷 一代さん (2の3)	2年女100mH	17" 43	19" 85 (H21)
木下 美咲さん (2の1)	2年女100mH	18" 40	19" 85 (H21)
大平 莉子さん (2の3)			
神田 愛さん (2の3)	2年女400mR	59" 55	59" 75 (H20)
須郷 一代さん (2の3)			
小野寺晴香さん (2の3)			
澤田 龍也君 (2の4)	2年男ジャベリックスロー	37m 62	36m 77 (H21)
伊藤 純君 (3の2)	3年男100m	12" 80	12" 98 (H21)
橋本 彩花さん (3の1)	3年女100m	14" 14	14" 51 (H17)
橋本 彩花さん (3の1)	3年女200m	30" 50	31" 12 (H17)



### 『ニワトリ症候群』

校長 増茂 薫

ある研究会の講演会で「ニワトリ症候群」についてのお話を聴きました。およそ一時間の講演でしたが、平成十七年に制定された食育基本法の解説から始まり、子どもたちの食生活に関する問題点を「時間」、「空間」、「質」の三つの視点からとらえてのお話でした。朝食の大切さ、朝食と学力や運動成績との関連、家族との食事の重要性、肥満や摂食障害、少年犯罪と食生活など幅の広い内容でした。多くの資料やデータに基づいた説明で、どれも大変興味深く聴くことができました。

講演のまとめの部分で、「ニワトリ症候群」について紹介していました。まさに今の子どもたちの食生活の課題を的確に表現していたので紹介します。「ニワトリ症候群」は「孤食」、「欠食」、「個食」、「固食」の頭文字を並べたものです。こ、けつ、こ、こです。

今の子どもたちの食生活の問題点として、「孤食」(一人)で食べる、「欠食」(食事(特に朝食)を抜く)、「個食」(食事は一人が気楽・食事は一人に限る)、「固食」(固定した食事(いわゆる偏食)を指摘しています。すべての子どもたちには当てはまることではありませんが、考えさせられました。二十四時間営業のコンビニ、手軽なファーストフード、ゲームや携帯電話の普及によるコミュニケーション能力の不足、核家族化、塾通い、経済的な困窮、保護者の多様な価値観など、今の社会での子どものたちを取り巻く環境を考えると、「ニワトリ症候群」は現代社会が必然的に作り出した病態なのかもしれません。そして、よく考えるとこれは子どもだけでなく私たち大人にも当てはまる病態なのかもしれません。

学校は夏休みに入ります。普段家族が揃って食事をする機会がないご家庭では、ぜひこの機会に楽しい食の時間を設けていただきたいと思います。

■発行責任者 校長 増茂 薫

■発行日 平成23年7月22日 ◇第5号◇

